

県内有数のスポーツ施設へのアクセスが改善し、スポーツ交流拡大に期待（交流人口拡大）

- 福島市西部にはスポーツ交流施設が集積、各施設で大規模なイベントが開催される県内有数のスポーツ交流拠点
- 福島市は、東京五輪の野球・ソフトボールの福島市開催や合宿誘致に向け、活動を本格化させる予定。福島大笹生ICの開通による、アクセス向上効果により誘致活動を支援

あづま総合運動公園

- ・・・福島県内の主要なスポーツ施設が立地
- ◆ あづま球場
 - ・30,000人収容。独立リーグ所属福島ホープスの主な試合開催球場
 - ・東京五輪の野球、ソフトボールを誘致
- ◆ あづま陸上競技場
 - ・20,000人収容。J3所属福島ユナイテッドFCのホームスタジアム
- ◆ あづま総合体育館
 - ・6,000人収容。各種スポーツの県大会やコンサートなどで利用



十六沼公園

- ・・・スポーツ施設、遊具施設、自然公園からなる総合都市公園
- ・年間利用者数50万人以上(H26)
- ・五輪サッカー宮城1次予選を想定し、福島での合宿誘致に向け調査検討予定
- ・J3所属福島ユナイテッドFCの主なトレーニング場所
- ・スポーツ大会や自然イベントを開催



ふくしまスカイパーク

- ・・・民間試験空域を確保できる国内唯一の離発着場
- ・全日本曲芸飛行協議会などのスカイスportsや地域イベントを開催
- ・研究開発やヘリ訓練の場としても利用
- (航空会社21社、民間企業8社、航空団体6団体、公共団体10団体以上)

